

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
疾患・症状別看護Ⅲ	2年次 後期	必修	講義	1単位（30時間）	霜垣 美由紀 ※
授 業 概 要					
生活行動からみる「恒常性維持のための調節機構-神経性調節」や「動く」に障害をもつ特徴を理解し、対象と家族の状況をふまえて、シミュレーション学習を通して急性期から退院後まで必要な看護について学ぶ。					
到 達 目 標					
1. 「恒常性維持のための調節機構-神経性調節」に障害をもつ対象の特徴を理解し、障害に合わせて、対象と家族の状況をふまえた看護について説明する。 2. 「動く」に障害をもつ対象の特徴を理解し、障害に合わせて、対象と家族の状況をふまえた看護について説明する。					
実務経験のある教員					
霜垣 美由紀、岡田 むつみ：脳血管疾患、神経損傷、運動器疾患をもつ対象の看護について、臨床経験をふまえて教授する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-8	1. 「恒常性維持のための調節機構-神経性調節」に障害をもつ対象の看護 急性期から退院後の自己管理の支援まで 1) 視床出血 2) 脳腫瘍 3) パーキンソン病				岡田 むつみ ※
8-15	2. 「動く」に障害をもつ対象の看護 急性期から退院後の自己管理の支援まで 1) 神経損傷・運動器疾患の看護 2) 演習 運動器疾患患者の日常生活援助技術 障害受容のプロセスを用いた看護				霜垣 美由紀 ※
学 習 方 法					
講義、演習、グループワーク					
評 価 方 法					
科目修了試験、レポート					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
[教科書] 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [7] 脳・神経 井手 隆文 他 著 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [10] 運動器 田中 栄 他 著 医学書院 看護過程に沿った対症看護第5版 高木 永子監修 学研					